

第3章 家庭・地域との連携

近年、家庭の教育力の低下や、地域における人間関係の希薄化などによる地域の教育力や子育て支援機能の低下が指摘されています。子どもにとってより良い教育・保育環境を確保するためには、幼稚園・保育所、家庭、地域がそれぞれの教育・保育機能の充実をはかるとともに、相互の連携を強化し、**幼稚園・保育所、家庭、地域が一体**となって子どもの教育・保育に取り組む環境づくりを進めていくことが必要です。

家庭・地域との連携については、幼稚園教育要領と保育所保育指針においても、家庭や地域での**子どもの生活の連続性に配慮すること**、**家庭や地域との連携や協力**、**地域の資源の積極的な活用**が記述されています。そのためには、幼稚園・保育所、家庭、地域が子どもの育ちを共有することが必要です。

ここでは、幼稚園・保育所が家庭・地域と連携する際の考え方や、それに基づいて幼稚園・保育所ができること、地域と協力してできることについて記載しています。

■連携する際の考え方



① 保育者と保護者が日頃からコミュニケーションをはかり、子どもの育ちを共有することがポイントです。
幼稚園・保育所と保護者とのつながりづくり

② 親子が楽しく、保護者同士が気軽にふれあえる機会やしくみをつくるのがポイントです。
親子・保護者同士のつながりづくり

③ 地域資源を活かし、さまざまな人やものとふれあう機会やしくみをつくるのがポイントです。
地域資源の積極的な活用、地域ぐるみの子育て支援



幼稚園・保育所ができること

一緒にやりましょう！



(幼稚園・保育所)

幼稚園・保育所は、子ども同士がふれあう以外に、保護者同士が交流できる場でもあります。

ここでは、各幼稚園・保育所が保護者と連携するとともに、保護者同士のふれあい・つながりづくりに向けた取組みを記載しています。

1 幼稚園・保育所と保護者とのつながりづくり

保育者と保護者が日頃の子どもの様子を伝えあいましょう。子どもへの適切な教育・保育の提供や、子ども・保護者・保育者の相互の信頼関係づくりにつながります。

視点1 保護者とのコミュニケーション

保護者と子どもの成長や育ちを共有しましょう。子どもの生活の連続性に配慮することで、基本的な生活習慣の定着につながります。

取組み例

- 連絡帳や手紙などを通して、幼稚園・保育所内と家庭での子どもの様子を共有する。
- 登園(所)時間を守ることの大切さを伝え、基本的な生活リズムを身につける。
- 表示をつけるなど、片づける場所をわかるようにする。
- 定期的に発育測定などを行い、保護者と子どもの成長を共有する。

保護者の意見集め(感想用紙入れ)



園(所)内の連絡掲示



片づける場所の表示



視点2 幼稚園・保育所行事への参加協力

運動会などの行事へ保護者に協力してもらうよう呼びかけましょう。保護者が幼稚園・保育所などに足を運ぶことで、保育者と保護者のつながりを深める場となります。

取組み例

- 運動会などの大きな行事を保護者と一緒につくりあげる(開催準備支援、親子競技、親子で衣装づくりなど)。
- サマープレデー(夏祭り)などにおいて、保護者が子どもたちに出しものを見せる。
- ごっこ遊び参観や劇遊び参観など、保護者が参加できる・しやすい参観を設定する。
- 交通安全指導などに保護者も一緒に参加してもらう。

運動会の準備



保護者とごっこ遊び



交通安全指導



視点3 保護者の保育などへの参加

幼稚園・保育所での保育や活動などに保護者が参加できるような機会をつくりましょう。保護者が保育や活動に参加することで、日頃の子どもの様子を知るとともに、かかわり方などの子育てのノウハウを学びあうことにつながります。

取組み例

- 春・秋の遠足、お別れ遠足の引率を協力してもらおう。
- 一日保育者として、絵本の読みきかせや昼食の補助などを行ってもらおう。
- 農園でふれあい体験への参加などを通して、戸外活動の保育に協力してもらおう。
- 親子栽培活動、親子制作など、親子で体験できるさまざまな行事を企画する。

保護者による読みきかせ



保護者と農園活動



保護者と栽培活動



保護者と木工遊び



保護者による折り紙教室



2 親子・保護者同士のつながりづくり

幼稚園・保育所においても、親子がふれあえる時間や機会をもち、子どもの心の安らぎや親子の絆づくりにつなげましょう。また、保護者同士が日常会話などを通して、子育ての状況や楽しさを共有することにより、抱えている不安や悩みの解消につなげましょう。

視点1 幼稚園・保育所内でのふれあい交流

幼稚園・保育所内で親子が気軽に集まれる機会をつくりましょう。親子がふれあえる機会を設けることで、親子のつながり以外にも、保護者同士が子どもの様子などについて情報交換や日常会話を交わしたりすることができ、保育者と保護者、また、保護者同士のつながりづくりにもつながります。

取組み例

- 園(所)内でのさまざまな活動・行事において、親子で気軽に参加できるようなプログラムを設定する。
- お迎えの時間帯を使い、親子と一緒に遊べる会を企画・実施する。
- 親子作業(野菜植えなど)を企画・実施する。
- 美化活動、文化活動、親睦会などの活動・行事において、積極的に保護者の参加を促す。
- 保護者へ絵本を貸出する。

親子でマッサージ



みんなで遊ぼう



親子で寄せ植え



視点2 参観日などでの情報交換

幼稚園・保育所の参観日などを利用して、保護者同士が意見交換をできるような機会を設定しましょう。日頃の家庭での様子や友だち関係について情報交換を深めることにつながります。

取組み例

- 日曜日に参観日を設定し、多くの保護者の参加を促す。
- 保護者参加型の参観にすることで、保護者同士がさまざまな形でふれあえる機会とする。
- 参観日後の学級懇談会において、幼稚園・保育所での子どもの様子の意見交換を行う。
- 親子の写真の撮影など、保護者同士が認識しあえるきっかけをつくる。

親子リレー(日曜参加)



親子同士の触れあい遊び(日曜参加)



地域と協力してできること

私たちが協力します！



(地域のさまざまな人・もの)

地域には、豊かな自然環境や多様な教育施設、またさまざまな経験や技能をもっている人たちが多く暮らしており、そのような場所や人材は子どもの教育・保育の充実にとって大切な資源です。ここでは、それら資源の活用に向けた取組みを記載しています。

3-1 地域資源の積極的な活用

地域には子どもの健やかな成長につながるさまざまな資源があることから、それら地域資源を活かし、子どもの教育・保育を充実させましょう。

視点1 地域のさまざまな人と交流する

地域の子どもからお年寄りまで、幅広い世代の方々と交流する機会を設けましょう。子どもがさまざまな人と交流することによって、豊かな心やつながる力を育みます。

取組み例

- 授業の一環で、中学生・高校生に来てもらい、子どもたちとのふれあい交流を行う。
- 地域の人たちを幼稚園・保育所で実施するさまざまな遊びの会へ招待する(一緒にふれあい遊びや、昔遊びを教えてもらったりする)。
- 地域のボランティアによる手話の指導や琴の演奏会などを実施する。
- 地域の福祉施設で高齢者と交流する。
- 地域の人を招いて食育指導を行う。
- 小中学生の職業体験で交流する。

高校生とのふれあい交流



中学生とのふれあい交流



高齢者とのふれあい交流



小学校の先生(英語指導助手)とのふれあい交流



視点2 地域資源にふれあう

地域の自然にふれたり、図書館などの教育施設などに行きましょう。幼稚園・保育所内での日常とは違った環境にふれることによって、豊かな心や新しいことを知ろうとする力の育成につながります。

取組み例

- 地域の施設見学(図書館、リサイクルセンター、大阪府民センター、青少年会館、消防本部、自動車教習所、清掃工場など)。
- スーパーで遠足のおやつの買い物体験を行う。
- 散策活動の一環として、地域の公園で落ち葉拾いを行う。
- 七夕に向けて、地域の公園などで笹取りを行う。

図書館の施設見学



自動車教習所の施設見学



公園での落ち葉拾い



七夕の笹取り



清掃車の勉強会



3-2 地域ぐるみの子育て支援

地域ぐるみで子どもを支え・見守ることによって、保護者の子育て不安の軽減や子どもの健全育成につなげましょう。

視点1 地域活動への参加

地域のボランティア活動（清掃活動、福祉活動など）に親子で参加するよう地域で働きかけましょう。地域とのつながりの中で子どもの思いやる力や社会性を育むことにつながります。また、保護者同士のネットワークも広がります。

取組み例

- 地域のふれあい農園へ親子で参加してもらおう。
- 地域の行事やお祭りなどへ親子で参加してもらおう。

ふれあい農園への参加



ふれあい農園との交流



地域行事への親子参加



地域行事への親子参加



視点2 見守り活動への参加

保育者・保護者・地域の大人が協力して、登降園（所）時などに防犯を兼ねた見守り活動に参加し、子どもたちに声かけを行いましょう。保護者も子ども自身も“地域によって支えられている”という意識づけが期待できます。

取組み例

- 大きな道路に立ち、子どもが安全に登降園（所）できるように見守る。
- 保育者や保護者が門前に立ち、あいさつする。
- 小学校と一緒に、見守り隊へ参加する。